

参加企業のブースがずらりと並んだ学内合同企業面接会  
= 金沢学院第一体育館



石田学長と懇談する(右から) 椋田、高木、古村、山口の皆さん  
= 学長室



## 意中の企業に自己PR

# 合同面接会に93社、学生350人

金沢学院大学、金沢学院短期大学の学内合同企業面接会は四月二十日、第一体育館で開かれ、石川、富山などに事業所を持つ九十三社が参加しました。大学四年、短大二年の学生合わせて約三百五十人が、意中の企業のブースに座り、採用担当者から会社の概要について説明を聞き、自己PRにも努めました。

開会に先立って、上山夏樹副理事長、田中晴人全学就職委員長が「就職講座を開くなど、学生を育成してきた。学生を良く見ていただき、採用につなげてほしい」などと挨拶しました。近年の好況と雇用情勢の好転を反映してか、例年に比べて参加学生はやや減つ

一人は「説明が少し長かったが、会社のことをよく理解できた」と話しました。

### 新入生が金沢さんぽ

金沢学院大学・短期大学学生会主催の第二回「金沢さんぽ」は四月十四日に行われました。県外出身の新生入生ら二十六人が日本史研究会のメンバーの案内で、天徳院、兼六園、金沢城、写真左、尾山神社、野田山の前田家墓地などをめぐり、金沢の歴史と伝統文化に理解を深めました。

# 目標に向けて努力あるのみ

## 金沢の文化を伝えたい

### 4 学生 留学前に学長に挨拶

四月後半から半年ないし一年間、英国、カナダの大学に留学する金沢学院大学の学生四人が四月十日、石田寛人学長に挨拶し、留学に臨む決意を話しました。

挨拶に訪れたのは、英国エクセター大学に留学する古村悠さん(文学部国際文化学科二年)、山口美紗子さん(同三年)、カナダのカモーション・コミュニケーション・カレッジに留学する椋田有里加さん(同三年)、高木慶次君(美術文化学部文化財学科四年)です。

古村さんは「ヨーロッパとの関係を勉強したい」、山口さんは「外国人も同じ人間だということを学んできたい」、椋田さんは「現地の人たちの考えを知って、自分の考えを深めたい」、高木君は「金沢や日本の文化の素晴らしさを伝えたい」とそれぞれ抱負を話しました。石田学長は「健康管理に気を付け、何事も積極的に取り組んでほしい」と激励しました。



ブースで説明を聞く女子学生。後ろには順番待ちの列

## フレッシュユマン キャンプ始まる

金沢学院短期大学、金沢学院大学のフレッシュユマンキャンプ、リフレッシュセミナーは四月二十日、短大生活デザイン学科を皮切りに六月下旬までの日程で始まりました。施設見学のもと、白山市にある本学の白山麓研修センターに宿泊し、交流を深めます。



### 東高、初戦で敗退

第百十六回北信越地区高校野球石川県大会に出場した金沢学院東高校チームは四月二十二日、石川県立球場で、県立工業との1回戦に臨みましたが、1対4で敗れました。

発行・広報室